

宇都宮市立瑞穂台小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
自ら問いを立て、学ぼうとする意識をもつことができる指導の工夫・改善	・単元を通して、学びが継続できるような展開を工夫する。 ・学習のねらいに迫るめあてを全体で共有して取り組ませたり、授業の学びを自分の言葉で振り返らせたりして、主体的に学習に取り組めるようにする。	「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」や「学習した内容で、分かった点や分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる」の質問は、学年によって肯定的割合に差があった。肯定的に答えている学年とそうでない学年があった。
対話を通して課題を解決する活動の工夫	・自分の考えを文章にするなどして、考えをもって活動に取り組ませる。 ・各教科だけではなく学級活動などを通して、書く活動と話し合い活動を関連付け、相手や目的を意識させる。 ・課題解決のために見通しをもって話し合いができるよう、手順を示す。	「グループなどの話し合いに自分から進んで参加している」の質問では、市の肯定的割合を上回る学年が多かった。また、考えを交流する場に関して、「自分の考えを根拠をあげながら話すことができる」や「物事比べながら考えている」の質問の肯定的割合も市平均を上回る学年が多かった。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・学校では、学習に取り組む基本的な態度や習慣を身に付けるために、「よい子の学習のきまり」をもとに学習指導を進める。家庭では、保護者の理解を得ながら、家庭学習を通して学習内容の確実な定着を図る。さらに、自分の課題に向かって計画的に学習を進められるようにする。

・基礎・基本を定着させるために、めあてや振り返り・まとめを習慣化させる。また、朝の学習などで、既習事項の問題に取り組ませ、今までの学習を想起させ、確実に習得させる。

・対話に関する質問の肯定的割合が、市平均を上回っていた。引き続き、学級活動や各教科を通して、課題に対して自分の考えを書いたり、比べながら聞いたりすることで、問題を解決できる力の育成を図る。

・記述式の問題の正答率が低いので、自分の言葉で説明したり、自分の考えを書いたりする場を設定する。その際に、書き方を指導したり、友達と互いの文を推敲したり、自分の文章のよさを見つけたりできるようにするなど、指導の充実を図る。